

香川県中小企業 BCP 優良取組事業所認定制度

県は、BCP(事業継続計画)を策定し、優れた取り組みを行っている事業所を優良取組事業所として認定することにより、BCP策定の機運を高め、BCP策定や優良な取り組みの普及を図っています。

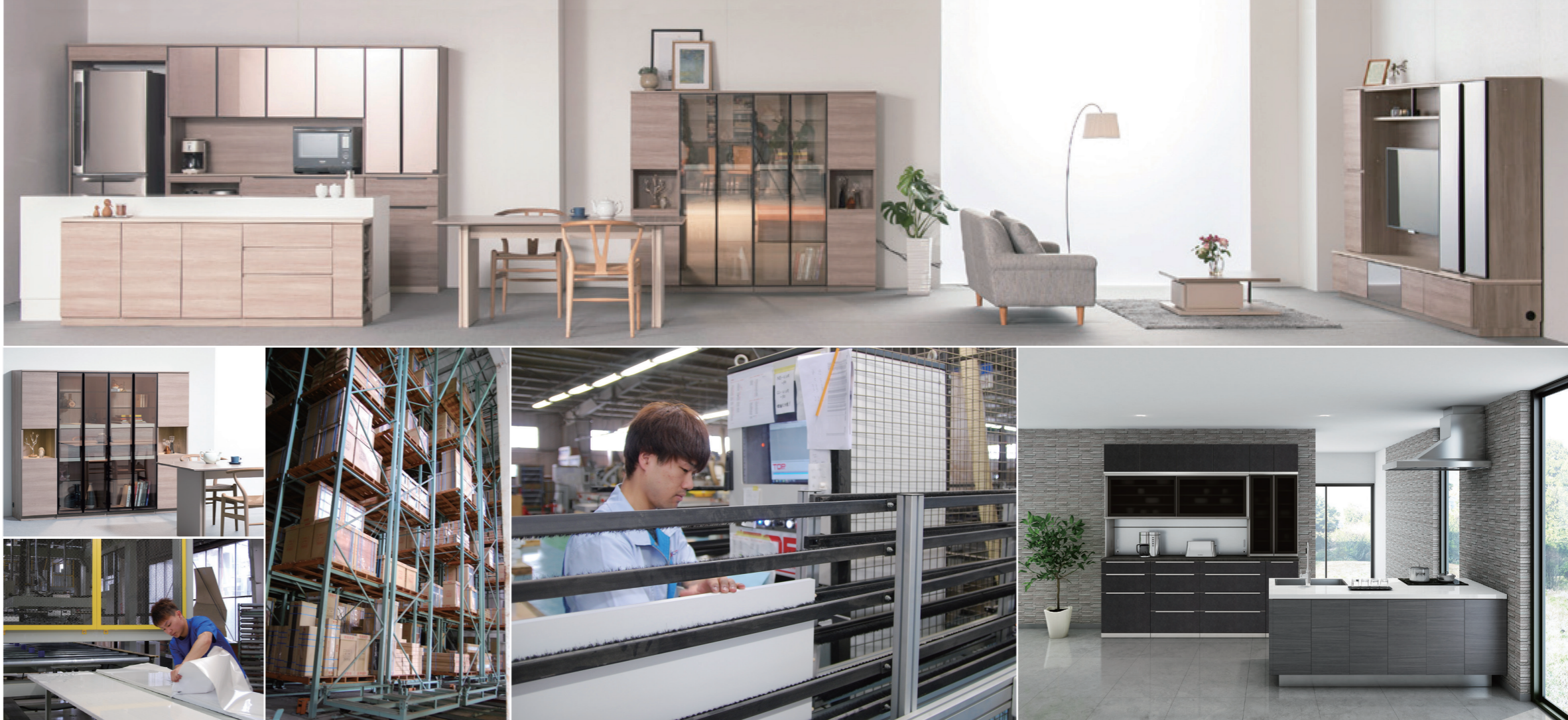
認定を受けた事業所は、県制度融資のBCP策定企業融資や損害保険の優遇措置がご利用いただけます。認定を受けた場合の、県内中小企業設備投資資金利子補給補助事業の補助上限額は、本年度から200万円に引き上げられています。

2019年度は、認定申請の受付を2回予定しており、1回目の締め切りは9月17日(火)です。詳細については、経営支援課までお問い合わせください。



2018年度の認定交付式

(問い合わせ先) 経営支援課 商業・金融グループ
高松市番町四丁目1番10号東館6階 ☎ 087-832-3343
Eメール: keiei@pref.kagawa.lg.jp



古くはしょうゆの醸造を行っていたそうですが、現在の同社のルーツは戦後にスタートした木製の玉のれん(玉を糸に通して下げたのれん)の製造。1968年からインテリア小物やサイドボードなどを手掛けるようになり、83年にはカジュアル家具製造、高級路線にシフトしたのは99年のことです。

開発力が生んだ成長

ブランド力を確立した現在は、大手住設機器メーカーと販売協力体制を確立し、展示会での相互応援、雑貨とのコーディネート意識した商品提案など、他ジャンルとの連携に意欲的な同社。特に「見せる収納」が流行している雑貨業界を意識した商品提案は、同社にとって既成概念にと

に耐震ロックを付けるなど、安全・安心への配慮も光ります。

「質感と素材にこだわり、ヨーロッパを中心に最新の素材を積極的に取り入れて、高性能なものづくりを目指しています。常に新しいものを追求し、業界をリードしたい」と、代表取締役社長の綾野義博さん。30、40代の年齢層を主なターゲットに、キッチンにとどまらず生活空間をトータルコーディネートする新シリーズのPRに力を入れているところです。

こうした動きの原動力は、社員のアイデアをどんどん取り入れ、開発力を強化してきたこと。「開発の仕事の重要性を痛感しています。立案から商品化まで、1シリーズの完成には1年から1年半かかります。それをして1人で仕上げられる人材育成が不可欠です」と綾野さん。

現在10人が在籍する開発部は、デザインセンスだけでなくマーケティング、素材の検討や開発、ユーザー目線の機能追求など、あらゆる面からシリーズを監修できる力が問われる、まさに同社のコア部門。ミラノの国際家具見本市への海外視察も行い、最先端の情報を敏感に取り入れています。

主力シリーズ以外はほとんど印刷・新提案していく方針で、マンネリを打破してきた同社。「生き残りが問われる時代に順調な売り上げを保てるのは、新しいことにチャレンジしているたまもの。いろいろな仕掛けてくる面白いメーカーだな、と思われたらうれしいですね」と綾野さん。まだまだアイデアは尽きない様子です。

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
☎087-868-9904

あらゆるニーズ対応の商品ラインナップ

スタイリッシュなデザインと最先端の機能性を両立し、置き型家具の高級ブランドとして全国に自社商品を展開している綾野製作所。キッチン8シリーズ、リビング2シリーズ、テール2シリーズをメインにサイズやデザインを幅広く取りそろえ、日本トップクラスの商品パリエーションを誇ります。

幅や高さの細かいカスタマイズが可能で、天袋と組み合わせれば天井までの空間を生かします。ドイツ製の金具を取り付けた引き出しや扉は

ソフトクローズで、使い心地も抜群。キッチンシリーズに使っている適湿化素材は、調湿機能だけでなく消臭効果も兼ね備えているとのこと。先進的な最高ランクの低ホルムアルデヒド建材を使い、全ての商品



綾野義博社長

マンネリ打破の開発力で高級家具業界をリード

挑戦する かがわの18 ものづくり企業

洗練されたデザイン、使いやすさ、安心・安全を実現しつつ、数十年使える「価値ある品質」を追求。30~40代の年齢層を中心に高く支持される、置き家具業界のトップランナーの挑戦とは一。

株式会社綾野製作所

(住所)丸亀市飯山町下法軍寺766番地
(創業)1962年
☎0877-98-2311
<https://www.ayano-craft.co.jp/>

